

発行所：一般社団法人 佐賀県臨床検査技師会
〒849-8501 TEL:070-2392-1447 FAX:0952-34-2028
事務局：佐賀大学医学部附属病院 検査部内

発行人：百田 浩志 編集人：福田 正博
URL : <http://saringi.jp/>
Email : saringi-jimu@saga.email.ne.jp (事務局)

2019年度 第1回事業推進委員会

10月24日(木) 佐賀大学医学部附属病院検査部で標記委員会を開催しました。(事業推進委員長 中島秀樹)

議題：全国「検査と健康展」について

11月17日(日) 10:00~16:00(予定)、ゆめタウン佐賀

佐臨技実務委員：8:00 搬入口付近集合

その他、詳細を検討しました。

2019年度日臨技九州支部医学検査学会(第54回) 報告

標記学会が、11月2日(土)、3日(日)に熊本市の熊本城ホールにて開催されました。

日臨技企画の「学生フォーラム」の座長を西浦明彦福臨技会長とともに務めた。現役の学生3名が「臨床検査技師の未来」というタイトルで卒業後の希望を語り、相山広美日臨技副会長が「医療現場が求める臨床検査技師像」を講演した後、ディスカッションを行った。学生は其々、治験コーディネーター・AIへの対応・コミュニケーション力についてしっかりした考え方をもち、将来が有望視される人材であった。ディスカッションでは、時間が余ると危惧していたが、活発な討議をいただき盛況であった。(百田)

一般演題の印象は、web抄録のためかフロアよりの質疑が少なくほぼ時間内に進行していました。活発な質疑のためにもプログラム集発送と同時のweb抄録掲載が望まれます。学会運営は年々スマートになり、日々の業務が増える中、支部学会担当県の負担軽減につながるよう情報の共有が求められます。(堤)

情報交換会は、学会会場とは別に、KKR ホテル熊本で開催され、多くの方の参加があり盛会でした。テーブル席が用意されていて、学会での疲れが癒され、ゆっくりとしたひとときを過ごすことができました。アトラクションとして、フラメンコが披露され、振付の指導を受けた参加者も一緒にステージでダンスを楽しみました。また、次期開催する宮崎県臨床検査技師会からは、来年への開催に向けた意欲的な取り組みのPRをされ、九州支部の団結力を感じました。「復興のシンボル」である熊本城天守閣のもと、交流(学会のキャッチフレーズ“結んで開こう”)を深めることができました。(内田)

演題数は合計112演題と多く、佐賀県からは一般演題3演題、座長3名、部門企画演者1名、日臨技企画座長1名の参加でした。今回は隣県開催もあつてか、当県からも多くの会員が参加されていた印象を受けました。会員同士の活発なコミュニケーションも行われた素晴らしい学会でした。参加された会員の皆様、お疲れ様でした。(平野)

再開成った「SAKURA MACHI Kumamoto」のホールにて開催され、熊本県出身の私としては感慨入りの学会でした。参加者数も千名を超える盛況ぶりで、活気ある学会ひいては熊本の復興を肌で感じることができました。企画の内容も災害時の経験や、コミュニケーション能力を高めるものであったり、今まであまり経験の無いもので新鮮な気持ちで参加できました。支部学会は佐賀県の担当も数年後にやってきます。その時担当される方々には新鮮な驚きのある企画を用意していただけたらと期待いたします。(田辺)

九州支部会議報告

11月1日(金)熊本市で開催された会議では、日臨技報告や支部学会報告がありました。また、全国「検査と健康展」では各県がそれぞれ現状にあった取り組みをされていました。支部研修会は、現時点での報告がありました。(堤)

各県役員・九州支部各県理事会議に引き続き、幹事・日臨技理事会議が開催された。審議事項としては、支部研修会のあり方や前述の合同会議では通達できない日臨技内での検討中の事項への対処などを話し合った。(百田)

『佐賀県リーダー育成研修会』開催報告

標記研修会を、10月27日(日)に佐賀大学鍋島キャンパスにて開催しました。

本研修会は、職場や技師会活動において、問題を共有でき、解決策を提言できる、次世代を担うリーダーとなりうる人材の育成を目的として開催され11名が参加しました。

まず、横地常広日臨技副会長の「臨床検査技師の未来とリーダーに求められるもの」、「日臨技の事業活動について」の講演がありました。冒頭に、「なぜ現状維持ではだめなのか!なぜ院内に検査部が必要なのか!」という問いかけから始まり、今後の業務の方向性や効率化、人材育成(意識改革)についての説明がありました。また、日臨技の重点課題として、臨床検査技師教育の見直しやタスクシフティング/シェアリングの推進、学術活動の見直し等の説明がありました。次にグループワークを行い問題解決・目標達成のための手法を学びました。過去に日臨技研修会を受講した石隈麻那・森隆之・吉谷美穂・坂井真一技師が中心となり、グループごとのディスカッションと発表を行い活発な質疑応答が行われました。参加者の皆さんは大変ながらも楽しくコミュニケーションをとることができたようで、会員同士の横のつながりもできた充実した研修会となりました。講師の皆様、参加者の皆様、お疲れ様でした。(平野)

地域ニューリーダー育成研修会 参加報告

10月18日(金)~20日(日)熱海市で、主に昨年度参加者対象の研修会に参加した。リーダーとして必要な各種スキルについて学んだ。内容の1例を上げるとコーチングスキルの基本の1つ「承認」では、グループ内で1人のメンバーを褒め続ける。褒める側も褒められる側も気取らずかしさはあつたが不思議と連帯感がうまれ、相手を認めることの大切さに気付かされた。講義内容の充実はもとより、これまで3回参加する中で多くの仲間と知り合うことができ有意義な時間を過ごすことができたのは一番の収穫であった。研修会で得られたスキルを活かし佐臨技の更なる発展に微力ながら貢献できるよう努めていきたい。(佐賀大学医学部附属病院 石隈麻那)

11月活動報告

- 7日(木) 医師会精度管理解析作業部会(佐賀市)・百田・平野
- 17日(日) 全国「検査と健康展」(佐賀市)・・・全三役
- 18日(月) 表彰(賞・罰) 審査委員会(佐賀市)・・・百田・内田
- 26日(火) 三役会(佐賀市)・・・全三役